

# たより 藤田 宙一(宮中出身)

昭和二十年八月敗戦となり、秋に復員して来ました。職も失い、実家に居候の身となりました。兄はまだ南方戦地から帰らず、弱肉の向親もいたので小作地を数反歩返してもらい、百姓をすることにになりました。しかし、農地改革が実施され、土地は分散解放されてしまい、耕作意欲を失って、人生の再出発と、片の紹介状を持ってあらためて上京しました。家を飛

ぶるさとの五穀豊穡の秋は最も懐しく好きな季節です。山奥に入ればあけびや山葡萄があり、自然の色なす紅葉や落葉の山道をカサコソと歩きながら茸狩りに連れられた事など思い出します。晩秋から初冬には日本一の豪雪地の前ぶれで初雪が間もなく根雪となり、郷土色豊かな正月の風習や、都会では見られない雪の祭典や運動会など、昔の思い出がまざまざと思ひ浮かび懐かしさで一杯です。最後に中里村の益々の発展と皆さんの御多幸を心からお祈り申し上げます。(紙面の都合により要約して掲載しました。)

## 人生往来

- ◎産声
  - 根津 茂 茂樹 植梗原
  - 高井 涼子 和男 田中
  - 村山智恵美 健治 田沢
  - 鈴木 学 和雄 倉俣
  - 阿部 孝幸 幸藏 高道山
  - 大川 辰也 袈裟市 小原
  - 高橋和歌子 富夫 宮中
  - 羽鳥 美里 才二 田中
  - 太島小百合 政春 芋沢
  - 鈴木 慶文 寛文 角間
  - ◎高砂
    - 新婦 桑原 寛二(三六) 東田尻
    - 新婦 南雲 初美(四二) 芋川

狂馬の母恋う窓辺秋の海  
 秋の蝶 葉山  
 菊子 秋の蝶 葉山  
 深雪 秋の蝶 葉山  
 独山 秋の蝶 葉山  
 桐陽 秋の蝶 葉山  
 滝沢ノブ 秋の蝶 葉山  
 廣田 幸子 秋の蝶 葉山  
 山本 ケン 秋の蝶 葉山  
 今も傍に汝が影はあり 秋の蝶 葉山  
 あざやかな紅葉の裾に尾花ゆれ 秋の蝶 葉山  
 夕映えの晴いとおしみつ越す 秋の蝶 葉山  
 すすき野を無数の光り流れて 秋の蝶 葉山  
 はなやぐ波のゆらめきに酔ふ 秋の蝶 葉山  
 葉は落ちて実のみ垂れゆくかりん 秋の蝶 葉山  
 樹の映える夕日に川の瀬おどる 秋の蝶 葉山  
 浦井 タカ 秋の蝶 葉山

# なかさと

私たちの村

人	11,7313 (-1)
男	3,630 (+1)
女	3,683 (-2)
世帯数	1,671 (+1)

10月31日現在

発行所  
 新潟県中魚沼郡  
 中里村公民館  
 毎月1回25日  
 定価1部5円



## 宮中橋開通

### 地域の発展を願って

速くのが白く化粧をする仲間もなく目の前の山へ、そして里へと香は静かに降りて来ます。そうした風景にせき立てられて冬仕度が終わると、いよいよ村も根雪におおわれて押し黙った冬の生活が始まる。

こんな美しさを秘めた村の初冬の風景も、そこに住む人には美しいというように感ずる余裕はなく、むしろ毎年くりかえされる出稼や、真冬の雪とのたまたかの毎日を思うと心の中は重苦しさでいっぱいというのが本町の姿でしょう。

ところで、こうした地域の発展の期待を担い、特に貝野地区民にとつては待ちに待った宮中橋が十月に開通し、十月二十四日に開通を記念した交通安全祈願の式典が行なわれた。

式典は、修祓式の後、村長さんと十日町三木事務所長さんの手でテーフカットが行なわれ、貝野小学校の児童生徒の鼓笛隊を先頭にして橋を渡り、開通を祝った。秋晴れに恵まれたこの日、多くの地区民が集まり、式に参加したが、鼓笛隊の演奏で進行が始まると大きな拍手をおくっていた。

この宮中橋は四十四年に着工されてより約九年目にして開通したもので、五十年には国道三五号線の誕生等と相俟って地域の発展の確保には大きな役割を果すものと思われま。

宮中橋は、夜間照明が灯けられ、取りっぱなしに完成し、信濃川発電所取水ダム、鷹の巣などの風景と共に自然の中にとけこみ、一つの名所となりつつある。

(写真は宮中橋交通安全祈願の式典)



宮中橋開通式典  
 貝野小学校児童

11月

「いいあんべだのー」この秋さかんに使われたあいさつ言葉であった。昨年とは正反対に今年の秋は好天に恵まれ、全国的な不況ムードの中ではあるが、農作物は大豊作。こうした喜びの中で、一年間の努力の結晶発表会とも言えるべき各種行事が開催されました。10月30日、村が主催して田沢小・中学校を会場に「第2回中里村農業祭」、10月30日、11月3日、中里村公民館主催の「第1回中里村芸術祭」、10月30日、11月3日、中里村青年会が主催で田沢小学校を会場に「第1回中里村青年祭」が行われ、親子連れや老人・青少年が多勢つめかけました。

### 中里村秋の祭典 力作を展示発表

農業祭、小学校会場は、農産物の展示即売会で朝からにぎやかで、体育館いっぱいに見事なキャベツ・ハクサイ・ネギ・ニンジン・イモ類等が陳列され、訪れた人達の称賛を浴びていた。同時に商工会のサービセールも行なわれ、両手に持ちきれないほど買い求めて帰るお母さん方や、モチつき大会に歓声をあげる子供達、皆楽しそう。別室では、つまり

### 農業祭

田沢中学校体育館では、地元民踊保存会等や、プロ芸能人の出演で、楽しい一日を過ごしました。

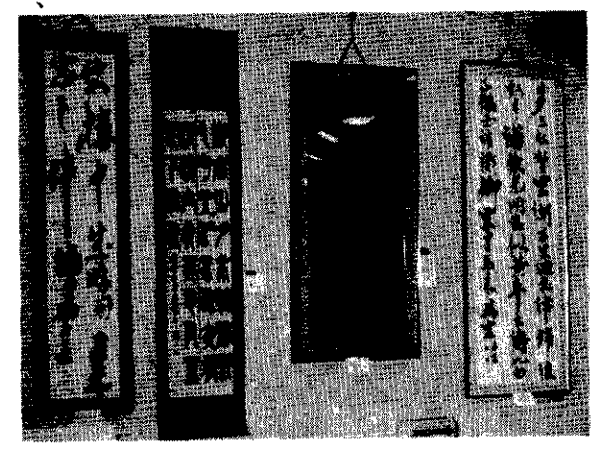


第一回中里村芸術祭は、農業祭に協賛して総合センターの二階全館利用して行なわれました。軽音楽の流れるモダンな会場には菊の香りが漂い、ずらりと並んだ数多くの傑作に、訪れた人々の感嘆の声が聞こえた。出品は盆栽クラブ、老人クラブ等の菊、手芸品、生花、書道クラブ員・写真愛好家の作品、それに保育所の子供達の図工品と、会場せまじと並んで静かに息づいていました。それぞれに作者の愛情が込められ、情熱がみなぎって深い感動を受けるものでした。中には村内にとどまらず幾多のコンテストに出展し、その実力を高く評価されている人も何人かいましたし、また、



まだ経験が浅くとも奮って出展された心暖まるものもありました。11月4日、出品者の中から各部門別の代表者に出席していただき、反省会を行いました。以下反省会の内容から

### 芸術祭



完成品ばかりではなく、実演や講習会をやったかどうか。村内にはまだまだ同じ様な趣味を持った人が沢山いる。ぜひそういう人達にも出展していただきたい。優秀を争うのは別問題として、多くの人が親しんでもらいたい。そして仲間同士お互いに激励し合っていて、各人のレベルとひいては全体のレベルの向上をめざしたい。

### 文化団体の 結成を!

芸術というものは、(という)と大げさになりますが、本来、その大部分が他人の力を借りたり、仲間を求めたりするものではなく、厳しく自己の内面に深く広く追求されるものであるかも知れないが、それは達人の境地であり、我々はやはり共通の趣味を持つ仲間を研究して行く方が、多面的に得るものが大きいのではないだろうか。

## 創造のよろこび

### 一人ぼっちの青年をなくそう

## 青年祭

現実を見つめ、未来を語り、一歩前進しよう。一人ぼっちの青年をなくそう。というスローガンを掲げて、中里村青年会が初の大事業「第一回中里村青年祭」を行いました。連合婦人会、老人クラブ連合会も共催し、公民館も後援して夏の頃から準備にかかり、七〇人の会員はそれぞれのサークル(料理・ダンス・パトミントン・山の会・学習会)に属し、趣向を凝らした生の発表会を行いました。当日は三百人位の参加者を得て村内アマチュアバンド演奏で始まり、企画の段階から会員同士あまり自信が持てず不安があった。しかしやってみると、自分達の手でやり遂げた喜びは大きい。百%の満足は得られないにしても、まあまあ出来であったと思う。しかし、一般の方々が多勢来てくれて感謝はしているが、肝心の若者の姿が期待したより少なかった。

「のど自慢大会、モチつき大会、サークル紹介、それに自作演劇「竹の子」や、歌の広場と豊富な内容で繰り広げられた。バザーには手製のクッキーや飲物・風船、それに金魚すくいまでおめえして楽しんでくれました。



たのは寂しい。もっともっと輪を拡げて行き、スローガンに向かって前進するように努力したい。来年も実施したいと考えています。

### 次の準備を!

大きくは村の行政から部落の行事、諸団体やクラブ等いろいろの事業が行なわれますが、いわゆる「主催者」の労苦は大変なもので、また、前夜祭には、婦人会会員も参加して二百人位の華やかなダンスパーティ。これもダンスサークルが中心になって、早くから講習会をやりマスターしたものでありました。

### スキーの正しい選び方

やがでスキーシーズンの到来である。だが、スキーはお金がかかるスポーツである。子供にせがまれる親達も嘆く。しかし、実際には体や技量に不相应なものを身につけている人を随分見かける。高価のものがすべてよいとは限らない。そこで正しい用具の選び方をお知らせしたいと思います。

スキー(長さ)身長プラス10cm、25cmが一般的。体がまだ大きくなるからと高価で長めのものを買っておこうと考えるのは得策とは断言出来ない。上達を早めるには短かい方が有利。硬き/体重の重い人は硬めのもの。競技用や上級者用には硬いのが多。初心者には扱いにくい。スキー靴 外観はどれも同じように見えるが、足を入れてみると微妙な違いがある。びったり合うものでないと後で必ず後悔する。むしろスキーより選択が重要である。

